

令和3年度事業計画書

I 基本方針

昨年1月、国内で初めて新型コロナウイルス感染症が確認されてから既に1年が経ち、日本経済は依然として大きな影響を受けているが、未だに感染拡大防止のために、日常生活では外出自粛、3密防止、消毒の徹底やマスク着用などが求められ、特に観光・飲食関係事業者に対しては、たびたび休業や時短営業などの要請が寄せられる状況にある。

その経済対策として、国・県・市から定額給付金や持続化給付金などの各種の給付金・支援金の支給のほか、事業補助金の創設、融資制度の拡充や消費喚起のためのプレミアム付商品券発行など様々な事業が次々と実施されてはいるが、感染拡大防止のためには人流（＝物流＝経済活力）は抑える必要があり、経済再生との両立を図るためのかじ取りが大変困難な状況にある。

今後、国民がワクチン接種の効果を得て、国内をストレスなく移動、滞在できる環境に戻るには相当の時間がかかると思われ、この環境下では、中小・小規模企業者にとっては依然として経営環境が厳しく、経営者として『「これまで」＋「デジタル」＋「新しい（生活）様式』を意識した新しい事業発想、マネジメント、変革が更に重要になるものと考える。

また、日南市の人口減少・高齢化が進行し、若者の市外流出が続けば、地域の経済活力が先細りしていく。その対策として行政も人口増加策として様々な取り組みをしているが、東九州自動車道が2022年度に日南市まで開通予定となっている今、日南市の経済循環と雇用に大きく関わる「人（流）」に着目した「日南市の魅力のあるまちづくり・ひとづくり」が急務である。

その一方で、近年の「働き方改革」「キャッシュレス化」「生産性向上」などの変革を達成するためには、データやデジタル技術の積極的な活用も重要であり、国はコロナ禍を契機に、更に踏み込んでテレワーク、DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入を強力に推進しているところである。

合わせて、全世界共通の環境問題である地球温暖化に対しては「カーボンニュートラル宣言」を発し、2050年までに温室効果ガス実質0の脱炭素社会の実現を目指しており、グリーン成長戦略をはじめ今後さらに企業、国民に対して新しい取り組みが求められてくると思われる。

そこで本年度は次の基本方針を掲げ、各種事業に取り組んでいく。

1. 商工会議所として意見・要望を公表し、連携した活動を実施する。
2. 事業継続、事業転換、DXの推進など様々な諸施策の普及啓発・活用促進による商工業の振興、発展を目指す。
3. ウイズコロナ・アフターコロナ等の新たな経営環境下に対応できる経営力強化事業を展開する。
4. 「日南市の魅力あるまちづくり・ひとづくり」構想策定に取り組む。

日南商工会議所は会員とともに「進化と創造」に挑戦している。当市商工業の振興、発展を目指し、その役割を積極的に果たしていきたい。

Ⅱ 具体的に展開する主要な事業

基本方針に沿って本年度も次の6本の柱を設け事業を展開していく。

1. 政策提言活動の強化
2. 地域経済活性化の推進
3. 産業基盤の整備促進
4. 力強いまちづくりの推進
5. 組織活動の強化
6. 関係機関との連携強化

1. 政策提言活動の強化

- (1) 意見の公表と具現化のための行動
- (2) 国、県、市等への建議、要望
- (3) 建議、要望に必要な調査研究

商工会議所の強みは、あらゆる業種・業態・規模の企業を会員として擁しており、全国に多数の拠点があり、かつ有機的にネットワークが構築されているところにある。このスケールメリットを強みとしていかし、日南地域の課題解決のための政策提言・要望活動を宮崎県商工会議所連合会、日本商工会議所などとも連携して行っていく。

要望内容として①東九州自動車道の早期完工、②油津港の充実強化、③JR日南線の観光路線としての魅力アップ、④新型コロナウイルスによる売上減少などに対する施策拡充についても要望する。

このほか、主要幹線道路の整備促進、日南市の歴史、文化資源等を活かしたまちづくりについても提言、要望を行っていききたい。

2. 地域経済活性化の推進

- (1) 中小企業・小規模企業への経営支援並びに人材育成の強化
- (2) 雇用、創業、事業承継対策の推進
- (3) 環境問題に関する積極的な取組
- (4) 商工技術・技能の普及推進
- (5) 農商工連携事業の推進
- (6) 日南市中小企業・小規模企業振興条例に基づく中小企業、小規模企業振興の取り組み

事業継続、事業転換、創業のためには、取り組む事業や取り巻く事業環境の「見える化（把握）」に取り組むことも必要である。合わせて、国・県・市等の支援策の活用や新たな事業展

開を目論む経営力を高めることも重要である。

そこで当所では、経営分析・事業環境分析を手始めとした状況把握や課題発見を行ない、専門家等もまじえ迅速な課題解決を見出すとともに、オンラインでの経営相談・セミナー開催等による新たな気づきの機会も設けていく。

また、オンラインでの商談会等の開催利用が新たなスタイルとして浸透してきており、移動困難な状況下での販路開拓を支援するため、オンライン商談会参加への勧誘や情報提供のほか、商工会議所・商工会が運営し、企業情報データベース検索、ビジネスマッチング、販路開拓、取引拡大、商談機会を提供する「ザ・ビジネスモール」の利用推進などを図っていく。

中小企業施策情報を発信するだけでなく、積極的に「商工業振興施策の推進機関」「経営革新等支援機関」「経営発達支援計画認定商工会議所」として、創業、経営革新、経営改善等の経営支援を行うとともに、外部専門家を積極的に招請するなどして伴走型の支援を実施する。特にコロナ感染拡大に伴う諸施策については、ホームページや所報等にて情報発信するとともに、行政・商工会議所連合会等と連携した対策事業に取り組んでいく。

また、職員のスキルアップを図り、円滑な支援を図るため、経営支援に役立てるための各種研修会や日本商工会議所のオンラインセミナー等に参加していく。

事業承継については着手から10年かかるともいわれている。日南市や金融機関、事業引継センター等と連携し、引き続き円滑な支援を行っていく。

地震、津波や感染症拡大などの危機的状況下での経営継続については、事前に損害を最小に抑える対策を行うと共に、従業員の安全確認のほか被害に応じた復旧対応策、手順などを準備しておくことが必要である。そこで当所では事業継続計画（BCP）策定の普及啓発を行っていく。

雇用問題については、高校生の県内・市内就職を向上させるため、当所青年部の活動を引き続き支援するとともに、宮崎県、日南市と連携して県内、市内就職につながる事業に取り組んでいく。

会員交流会については、昨年度はコロナウイルスの感染拡大を防ぐため中止したが、今年度も会員親睦と異業種交流を図ることを目的に開催する。

日南市中小企業・小規模企業振興条例に基づき、日南市地域産業未来会議の場や北郷町商工会、南郷町商工会、日南市商工・マーケティング課と引き続き意見交換を行い、中小企業・小規模企業の振興を図っていく。環境問題については、国において2050年までに温室効果ガス実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の宣言が行なわれ、その実現に向けての気運の醸成や脱炭素ライフスタイルへの転換等の取り組みが強く求められており、脱炭素社会を目指し、日南市とともにごみ減量や分別収集等の啓発活動に取り組んでいく。

ホームページ、SNS、ブログ等ICTを使った情報発信によりビジネスチャンスを広げようとする企業への支援を行っていく。

3. 産業基盤の整備促進（要望活動）

- (1) 東九州自動車道の早期完工の整備促進
- (2) 油津港の充実強化の推進
- (3) 国道220号などの主要幹線道路の整備促進

2018年3月に東九州自動車道の日南市内道路の一部（日南北郷 IC～日南東郷 IC）が開通し、2019年12月には清武南 IC～日南北郷 IC 間は2022年度に開通予定と公表されたが、宮崎市や志布志市に至るまでには、引き続き強力な要望活動が必要である。

また、日南市までの開通予定が2022年度と公表されている高速道と連携した油津港の物流増加を図ると共に、ファーストポート化によるクルーズ船の寄港を増やし、その波及効果を広く県内に波及させるためにも、より一層の物流・観光面のポートセールスの強化が必要となる。

更に、高速道が日南市まで開通するこの機会に、油津港の機能強化（貯木用地を含む貨物ヤードの拡充、クルーズ船専用岸壁の整備等）と港湾整備への国等予算の適宜配分を強く要望していく。

また、油津港の将来像や港周辺のまちづくりを踏まえた構想立案と、その要望活動を行なうため民間中心の協議会活動を行なっていく。

これにより、高速道路、国道220号、牛の峠線（国道222号）、宮崎空港等との相乗効果をさらに高めることができ、ストロー効果対策として、また、高速道路のストック効果を高めるためにも不可欠である。

国道220号・日南防災北区間は、伊比井潮風トンネル区間（延長1.1Km）が開通したが、北区間の残り区間（延長1.5Km）や南区間（鶴戸～風田）についても防災対策整備促進のため今後も要望していく。

合わせて南海トラフ地震による津波の到達は、県内で日南市が一番早く、油津、大堂津には15分で浸水開始する予測が出ている。防災上、広渡川河口付近の河川護岸整備も必要である。加えて「後方支援都市」となる都城市へのアクセス（国道222号）は、災害時に救命・救助・消火・医療救護活動等を迅速に行うためにも整備を急がなければいけない。東九州自動車道等の整備進展にあわせ「国道222号命の道を結ぶ会」の活動を通して、都城市、三股町の商工団体とも連携しながら、牛の峠バイパスの事業再開を目指していく。

また、今後の通信規格として注目の「5G」「ローカル5G」は、市内企業、まちづくりのうえでも導入が必要である。日南市に対して早期整備の要望を行う。

4. 力強いまちづくりの推進

- (1) まちづくり事業の推進
- (2) 個店等の連携による集客
- (3) 観光振興対策の推進
- (4) 社会福祉事業への取り組み

東九州自動車道「清武南IC～日南北郷IC」間の開通予定が2022年度と公表され、開通後は交通の利便性が格段に高まり、宮崎市と日南市は通勤圏となる。このストック効果として交流・定住人口の増加を図り、日南市の経済循環と雇用力を高めるため、人（流）に着目した「日南市の魅力あるまちづくり・ひとづくり」構想の策定に委員会等を立ち上げ取り組んでいきたい。

また、市内各IC付近を拠点としたまちづくりについて、北郷町商工会、南郷町商工会とも意見交換を行う。

日南まちゼミは、個店が連携して取り組んでいる新たな顧客づくり、にぎわいづくりにつながるコミュニケーションツールである。昨年に引き続き5回目を開催する。

観光振興対策を推進するため、引き続き日南一本釣りカツオ炙り重、油津キャナルマルシェといった「食」をテーマにした事業を支援し、域外からの集客をはかり、さらなる食の開発・販売の支援を行っていきたい。

広域観光も推進するため引き続き串間市等との宮崎県南観光ネットワーク推進協議会事業に取り組む、広域PRの実施や観光人材の育成を図っていく。

また、日南市の稼げる観光力を引き出すため、九州商工会議所連合会の観光委員会にも積極的に参加し日南市の観光振興に役立てていきたい。

このほか、宮崎県の自殺防止の事業や日南市社会福祉協議会等の事業といった社会福祉の増進に資する事業にも引き続き参加していく。

5. 組織活動の強化

- (1) 財政基盤の強化
- (2) 会員サービスの向上と会員増強活動の実施
- (3) 情報発信による事業PR
- (4) 各種会議の開催
- (5) 健康に着目した経営の啓発

商工会議所の組織運営・財政基盤の強化が喫緊の課題となっているが、事業の廃止や縮小などの理由から会員数の減少、会員共済への加入減が続いている。引き続き議員・職員一丸となり会員増強・共済加入促進に取り組むほか部会の再編を行う。また、収益事業についても新たな事業の検討を行っていく。

このほか、部会活動等の活性化、会員交流会で会員の絆を深めるとともに、日南市民にも

広く商工会議所事業をPRしたい。

従業員の健康の維持・増進は会社の生産性の維持、向上にとって重要である。「健康に着目した経営」を啓発するとともに、会員企業のうち当所共済加入者に対して健康診断の補助制度を予算限定で実施する。

6. 関係機関との連携強化

- (1) 日本商工会議所、九州商工会議所連合会、宮崎県商工会議所連合会
及び関係官公庁、関係団体等との連携強化
- (2) 市、市議会等との意見交換会等の開催
- (3) 北郷町、南郷町両商工会及びその他の団体との連携強化
- (4) 犬山商工会議所、日南町商工会との交流による連携強化

政策提言・要望活動の実施にあたっては、宮崎県商工会議所連合会や九州商工会議所連合会と連携し広域的に展開する方が効果的であり、情報共有を図りより連携を深めていく。

また、関係官公庁、関係団体等との連携によって事業が円滑、効果的に推進できることから引き続き情報交換、意見交換を行い、日南市の経済活性化につなげていく。

県外商工会議所、商工会との交流は友好関係を醸成するばかりでなく、情報交換と企業取引のきっかけともなることから、引き続き連携を強化していく。

Ⅲ 事業細目

1. 政策提言活動の強化

- (1) 意見の公表と具現化
- (2) 国、県、市等への建議、要望
- (3) 建議、要望に必要な調査研究

○○○は新規事業または周期事業 ○○○は前年途中から実施している事業

2. 地域経済活性化の推進

- (1) 中小・小規模企業への経営支援活動

- (ア) 経営指導

- ①小規模事業経営改善普及事業の推進
- ②経営革新等支援機関としての事業推進
- ③経営発達支援計画に基づく支援事業の推進
- ④新型コロナウイルス対応のための経営相談体制強化事業
- ⑤制度改正に伴う専門家派遣等事業の実施
- ⑥中小企業等経営基盤強化支援事業の実施
- ⑦創業支援（創業塾の実施）
- ⑧専門家派遣及び経営能力向上のためのセミナー・個別相談会等の開催
- ⑨倒産の未然防止及び経営の安定に関する指導
- ⑩事業承継対策事業の推進

- (イ) 金融・共済加入指導

- ①小規模事業者経営改善資金融資に関する調査及び指導
- ②公的金融制度の紹介
- ③経営セーフティ（倒産防止）共済、小規模企業共済の加入促進

- (ウ) 記帳指導

- ①経理に関する指導
- ②派遣税理士による税務申告指導

- (エ) 情報化推進

- ①インターネットを活用した中小企業の情報ネットワーク化の推進
- ②ICT（ホームページ、SNS、ブログ等）を使った情報発信

- (オ) 施策普及

- ①中小企業施策の普及促進
- ②事業継続計画策定（BCP）の推進

- ③日本商工会議所のPL保険、ビジネス総合保険等の普及推進
- ④会報、ホームページ、SNS等による情報提供
- ⑤キャッシュレス決済の施策広報と普及促進

(カ) 新型コロナウイルス感染症の影響に対する国等の施策普及と経営改善支援

(2) 産業振興対策の推進

- ①飼肥杉の利活用拡大の促進
- ②公共事業の中断のない地元発注の促進・工事資材の地元調達促進のための取り組み
- ③環境問題に関する積極的な取り組み
- ④海外展開支援担当職員（兼務職員）の配置によるJETROとの連携強化
- ⑤オンライン活用による商談会等の普及・利用促進

(3) 雇用、創業、事業承継対策の推進並びに人材育成の強化

- ①雇用問題にかかる行政等との連携強化
 - ・日南市地域産業みらい会議への参加
 - ・日南市地域の人事部事業への参加
 - ・日南市就労支援ソリューションへの参加
- ②地域雇用確保のための支援事業（当所HPでの会員企業の求人情報掲載）の推進
- ③ジョブカード事業の推進
- ④企業立地・定住促進・創業事業の行政等との連携強化
- ⑤雇用人材育成担当職員（兼務職員）の配置による県との連携強化
- ⑥働き方改革、外国人雇用関連情報の周知広報

(4) 環境問題に関する積極的な取組

- ①日南市指定ごみ袋取扱事業の推進
- ②廃プラスチック分別収集の啓発

(5) 商工技術・技能の普及推進

- ①日本商工会議所検定等各種検定試験の実施

(6) 農商工連携事業の推進

- ①中小企業相談所での情報提供、窓口相談や経営指導の実施
- ②農商工連携事業の実施、啓発

(7) 日南市中心企業・小規模企業振興基本条例に基づく中小企業、小規模企業振興の取り組み

- ①北郷町商工会、南郷町商工会と日南市との意見交換等の実施

3. 産業基盤の整備促進（要望活動）

（1）東九州自動車道の早期完工の整備促進

- ①東九州自動車道・清武南～日南北郷間、日南東郷～南郷間の早期完工
- ②東九州自動車道・南郷～奈留間の早期事業化
- ③東九州軸推進機構の組織を通して県の枠を越えた諸活動の展開

（2）国道220号などの主要幹線道路の整備促進

- ①国道220号青島～日南間の防災対策の整備促進
- ②国の名勝に指定された「鶴戸」と「日南北郷 IC」を結ぶ観光振興及び防災対策を目的とした道路整備
- ③災害（地震、津波）に強い耐震、耐災害道路等の建設整備促進
- ④防災対策を絡めた国道222号「牛の峠バイパス」の早期事業再開

（3）油津港の機能強化推進

クルーズ船の寄港、ファーストポート体制の整備、木材の海上輸送需要の増大や2022年度予定の東九州自動車道の日南までの開通等の好機を逃さず

- ①木材やコンテナ輸送増等に対応できる物流機能の充実
 - ・貯木用地を含む貨物ヤードの拡充
 - ・大型船舶に対応した荷役施設の整備
 - ・臨港道路と国道220号との交差点（ホテルシーズン日南前）の信号機設置や交差点改良
- ②油津港11号岸壁の早期整備
- ③クルーズ船専用岸壁の整備
- ④タグボートの配置・回航に対する支援強化
- ⑤大型船舶に対応した港湾荷役施設の整備
- ⑥高速道の開通等に応じた油津港整備への国予算の適宜配分
- ⑦高速道と連携した物流増加を図るための海外航路復活とファーストポートでのクルーズ船寄港を増やすためのポートセールスの強化
- ⑧重要港湾・油津港整備促進民間協議会の事業推進

（4）河川護岸整備の促進

- ①防災対策としての広渡川（2級河川）等の護岸整備の促進

4. 力強いまちづくりの推進

（1）まちづくり事業の推進

- ①「日南市の魅力あるまちづくり・ひとづくり」構想策定の取り組み
- ②まちづくりに係る事例研究、交流会、会議への参加
- ③まちづくりソフト事業の充実強化

④市内各 I C を拠点としたまちづくりの意見交換の実施

(2) 個店等の連携による集客推進

①日南まちゼミの実施

②日南まちづくり(株)の商店街活性化に対する支援

(3) 観光振興対策の推進

①広域観光振興事業の推進(宮崎県南観光ネットワーク推進事業)

②日本一の観光名所づくりの推進(ジャカラダ、桜、アジサイ等)

③日南一本釣りカツオ料理推進協議会の事業支援

④広島東洋カープのキャンプ支援

⑤実業団、プロサッカーチームのスポーツキャンプ支援

⑥海上自衛隊艦艇の積極的寄港促進

⑦JR日南線、宮崎交通バス、観光バス等による観光客受け入れの推進

⑧日南海岸地域シーニックバイウエイ推進事業への参加

⑨民謡大会等への協賛並びに各種大会の誘致

⑩祭りイベント等への協力

⑪「ふるさとMy夢カード」の普及促進とインバウンド対応端末機設置の普及促進

⑫「油津キャナルマルシェ」の実施

⑬自転車を使った観光振興の研究

⑭外国観光客受入のための関係者のスキルアップや人材育成の推進

⑮免税店、キャッシュレス決済の普及促進

(4) 社会福祉事業への取り組み

①行政等と連携した福祉増進事業(子ども育成、自殺対策、フクちゃんまつり)の協議参加

5. 組織活動の強化

(1) 財政基盤の強化

①財政基盤確立、地域経済団体としての発言力強化のための会員増強運動の実施

②各種共済制度増強運動の実施

③特定商工業者法定台帳の整備による会員勧誘

(2) 会員サービスの向上と会員増強活動の実施

①生命共済、火災共済、退職金共済、PL保険等の各種共済、保険の取り扱い増強

②職員の資質向上強化

③労働保険事務組合への加入促進

④女性会、青年部の活動支援及び事業連携の強化

⑤会員交流会の開催

⑥新春賀詞交換会の開催

⑦部会再編

(3) 情報発信による事業PR

①会報・ホームページ等による会員及び市民への情報提供

(4) 各種会議の開催

①正副会頭会議、常議員会、議員総会の開催

②部会、委員会の開催

(5) 健康に着目した経営の啓発の実施

①健康診断の補助事業の実施（設定予算内での事業実施）

6. 関係機関との連携強化

(1) 日本商工会議所、九州商工会議所連合会、宮崎県商工会議所連合会及び関係官公庁、関係団体等の情報・意見交換、行事参加

(2) 日南市、日南市議会等との意見交換会等の開催

(3) 北郷町商工会、南郷町商工会及びその他の団体との情報・意見交換、事業連携

(4) 犬山商工会議所、日南町商工会との交流事業の実施